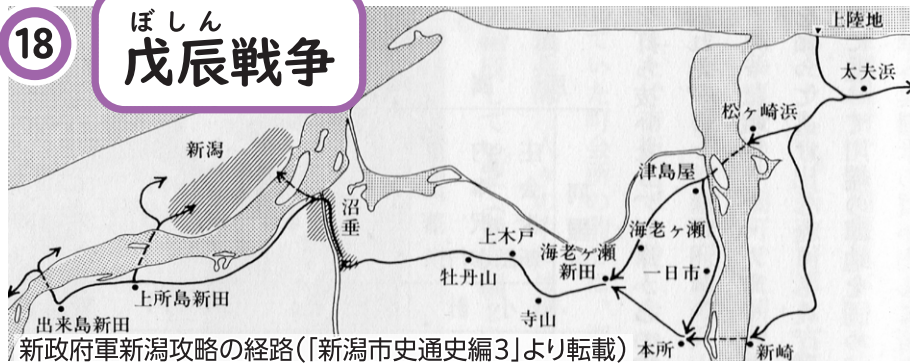




①政府軍は会津藩征討のため越後に軍を進めますが、長岡藩の強い抵抗に遇います。長岡藩の善戦には新潟からの補給があったことから、政府軍は長岡藩への補給路を断つため慶応4年(1868)7月25日兵士を太夫浜に上陸させ新潟へ進攻させました。

近の堤防に大砲陣地を設け、白山神社の森を目標に砲火を打ち込んで新潟突入を準備、7月29日新政府軍は信濃川を渡って新潟に総攻撃をかけ町を占領しました。このとき新潟町の500戸ほどが兵火で焼かれたといわれています（官軍火事）。

②政府軍が阿賀野川を渡り始めると米沢藩士は千間土堤せんげん とて(旧本所通船川跡)を退却しますが、上陸した政府軍から狙い撃ちされ、米沢藩士12名が銃弾で倒れました。4名が上木戸付近で亡くなりました。

③7月27日、政府軍は上所島付

④上木戸ではここで亡くなった戦死者の墓を密かに建て、村の近くにある「王子権現」の社地に移して官軍塚と呼ばれました。しかし、ここで亡くなった新政府軍兵はいないことから、賊軍を伏せる意味で付けた名ではといわれています。その後社地が宅地となったため、地元有志によって平成9年（1997）「戊辰の役 祈念の碑」がはなみずきさくら公園に建立されました。

